

■関節可動域ならびに測定法前文

修正箇所	修正前	修正後
I. 関節可動域表示ならびに測定法の原則 3. 関節の運動 1)	関節の運動は直交する3平面、すなわち前額面、矢状面、横断面を基本面とする運動である。ただし、肩関節の外旋・内旋、前腕の回外・回内、股関節外旋・内旋、 頸部 と胸腰部の回旋は、基本肢位の軸を中心とした回旋運動である。また足関節・足部の回外と回内、母指の対立は複合した運動である。	関節の運動は直交する3平面、すなわち前額面、矢状面、横断面を基本面とする運動である。ただし、肩関節の外旋・内旋、前腕の回外・回内、股関節外旋・内旋、 頸部 と胸腰部の回旋は、基本肢位の軸を中心とした回旋運動である。また足関節・足部の回外と回内、母指の対立は複合した運動である。
I. 関節可動域表示ならびに測定法の原則 3. 関節の運動 2) (1) 屈曲と伸展	多くは矢状面の運動で、基本肢位にある隣接する2つの部位が近づく動きが屈曲、遠ざかる動きが伸展である。ただし、肩関節、 頸部 ・体幹に関しては、前方への動きが屈曲、後方への動きが伸展である。	多くは矢状面の運動で、基本肢位にある隣接する2つの部位が近づく動きが屈曲、遠ざかる動きが伸展である。ただし、肩関節、 頸部 ・体幹に関しては、前方への動きが屈曲、後方への動きが伸展である。
I. 関節可動域表示ならびに測定法の原則 3. 関節の運動 2) (9) 右側屈・左側屈	頸部 、体幹の前額面の運動で、右方向への動きが右側屈、左方向への動きが左側屈である。	頸部、体幹の前額面の運動で、右方向への動きが右側屈、左方向への動きが左側屈である。
I. 関節可動域表示ならびに測定法の原則 3. 関節の運動 2) (10) 右回旋と左回旋	頸部 と胸腰部に関しては右方に回旋する動きが右回旋、左方に回旋する動きが左回旋である。	頸部と胸腰部に関しては右方に回旋する動きが右回旋、左方に回旋する動きが左回旋である。

■関節可動域表示ならびに測定法

修正箇所	修正前	修正後
II. 上肢測定 部位名	肩甲帯 shoulder gurdle	肩甲帯 shoulder girdle
II. 上肢測定 肩shoulder (肩甲帯の動きを含む) 運動方向	内転 abduction	内転 adduction
IV. 下肢測定 足関節・足部 foot and ankle 測定肢位および注意点	・・・・・・ 行なう.	・・・・・・行う.
IV. 下肢測定 足関節・足部 foot and ankle 運動方向	底屈 plantarflexion	底屈 plantar flexion
IV. 下肢測定 部位名	1趾 , 母趾 great toe, big toe	第1趾, 母趾 great toe, big toe
IV. 下肢測定 第1趾, 母趾 great toe, big toe 測定肢位および注意点	以下の 1趾 , 母趾, 趾の運動は, 原則として趾の背側に角度計をあてる.	以下の第1趾, 母趾, 趾の運動は, 原則として趾の背側に角度計をあてる.
IV. 下肢測定 趾 toe, lesser toe 運動方向及び参考可動域角度	屈曲 (DIP) flexion 0-50	伸展 (DIP) extension 0

■関節可動域参考値一覧表

修正箇所	修正前	修正後
	(附) 関節可動域参考値一覧表	(付) 関節可動域参考値一覧表
部位名及び運動方向	頸部	頸部